

## 平成28年度

東京藝術大学音楽学部・別科入学者選抜試験  
試験内容及び課題曲

(本冊子は表紙を含め全43ページ)

※発表した課題曲の内容等についての電話等による問い合わせには応じない。  
 ※本冊子記載事項に訂正があった場合は、その都度本学ホームページで発表する。

## 声種・楽器等の略記について

本学では、下記のとおり声種・楽器名を略記することがあるので、参考までに記載する。

## 【 略 記 一 覧 】

専攻・声種・楽器名	略記	専攻・声種・楽器名	略記				
作曲	/	ホルン	Hr				
声楽	ソプラノ	金	トランペット	Tp			
	アルト	管	テナー・トロンボーン	Ttb			
	テノール	管	バス・トロンボーン	Btb			
	バス	管	ユーフォニアム	Euph			
器	ピアノ	打	チューバ	Tu			
	オルガン	打	楽器	Pc			
	弦	古	バロック声楽	BVo			
			バロックヴァイオリン	BVn			
			バロックチェロ	BVc			
	楽	楽	リコーダー	Rec			
			チェンバロ	Cemb			
			バロックオルガン	BOrg			
	木	フルート	指	揮	/		
		オーボエ	邦	楽	/		
クラリネット		楽	理	/			
ファゴット		音	楽	環	境	創	造
サクソフーン	Sx						
<p>○ 略記の表現について</p> <p>1. 原則として、2字以内にまとめた。</p> <p>2. 科目名等は、日本語のままとし、声種・楽器名を略記の対象とした。</p>							

# 平成28年度東京藝術大学 学生募集要項 (音楽学部・別科) の配布について

---

1. 配布時期 平成27年12月上旬

2. 配布方法

- (1) 学生募集要項は無料である。
- (2) 本学での配布は、音楽学部教務係または守衛所で行う。
- (3) 郵送による申し込みは、下記要領に従い「返信用封筒」を郵送すること。  
(平成27年11月中旬から受け付ける。)

申込用封筒 (定型封筒で可)  
[90×205mmまたは120×235mm]

〒110-8714	
92円 切手	東京藝術大学 音楽学部 教務係
	台東区上野公園 12   8
平成28 ・年 別度 科募集要項 請求	

返信用封筒 (角型1号封筒)  
[270mm×382mm]

〒〇〇〇-〇〇〇〇	
400円 切手	
氏	申
	込
	人
	住
	所
名	

←  
折り込む

## 試験内容及び試験曲

### ①専攻実技等

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
作		第一回	与えられたバス及びソプラノの声部により、それぞれ4声体の和声を作る。 (各3時間)
		第二回	(1) 厳格対位法：与えられた定旋律による3声華麗対位法と混合類各1題を作る (3時間)。 (2) 与えられたコラール旋律により、バッハ様式で4声コラール1題を作る(2時間)。(計5時間)
		第三回	与えられた主題、指定された形式(*)、編成により楽曲を完成する。なお楽器編成は下記から指定する。 フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、ピアノ (8時間。ただし、途中昼食休憩の1時間を別に設ける。) *変奏曲、ロンド、ソナタ等の形式 ※形式及び楽器編成については当日指定する。
曲			

#### 【例題】

##### 1. 厳格対位法

1. 次の定旋律(バス譜表)上に、任意のハ音記号を用いて移勢と4分音符による3声の混合類を作成せよ。それぞれの対旋律をどの声部に置くかは自由。尚、定旋律の他声部への置き換えはしない。移調または移旋はおこなわないものとする。



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
声    楽	ソプラノ (S)  アルト (メゾソプラを含む) (A)  テノール (T)  バス (バリトンを含む) (B)	第一回	<p><b>〔課題選択曲〕</b>          志願者は、出願時に、次のページに記載する課題選択曲の中から以下により合計8曲を選択し、提出すること。</p> <p>A. 日本歌曲 4曲          B. 外国曲 4曲 (外国曲〈イタリア、ドイツ、フランス〉のグループに関係なく自由に選択して良い。)</p> <p>志願者の提出した8曲の中から、本学が4曲 (A. から2曲、B. から2曲) を試験当日に指定する。志願者は、その4曲の中から2曲 (A. から1曲、B. から1曲) を選び、暗譜で演奏する。</p>
		第二回	<p><b>〔自由曲〕</b>          あらかじめ出願時に提出した任意の声楽曲1曲を暗譜で演奏する。          ただし、第1回の課題選択曲として選択し、提出した曲を第2回の自由曲として選ぶことはできない。(従って、次のページに記載された曲であっても、課題選択曲として選択しなかった曲を自由曲として選んで良い。)</p>
		第三回	<p>(1) F. Wüllner : Chorübungen I (全訳)。(抜粋及び省略本は不可)の中から試験の際指定する。</p> <p>(2) 新曲視唱</p> <p>(3) リズム課題</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>







科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器 鍵 盤 楽 器	ピ ア ノ (P f)	第 一 回	<p>a) Beethoven : ピアノソナタより任意の1曲を選択し提出する。  b) Chopin : 練習曲 Op.10 及び Op.25 より任意の2曲を選択し提出する。  ※ a) については、第1楽章を演奏する。ただし、次の作品については、第1楽章と第2楽章を演奏する。Op.27-1, Op.27-2, Op.101, Op.109  b) については、当日各自の抽選により1曲を演奏する。</p> <p>I) 演奏は、すべて暗譜とする。  II) 8小節までの繰り返しは自由とする。それ以外の繰り返しは省略する。  III) 当日、時間の都合により一部を省略させる事がある。  IV) 曲順は、各自の自由とする。</p>
		第 二 回	<p>a) Beethoven : 第1回で選択したピアノソナタより、第1回で演奏しなかった楽章(第2楽章以降)を演奏する。ただし次の作品については、第3楽章以降を演奏する。Op.27-1, Op.27-2, Op.101, Op.109  b) 下記の作曲家群から1曲以上を選択する。ただし演奏時間は10分以上とする。  Schubert, Weber, Mendelssohn, Chopin, Schumann, Liszt, Brahms  ただし、Chopin は練習曲以外の作品を演奏すること。  c) 下記の作曲家群から1曲以上を選択する。  Fauré, Debussy, Ravel, Scriabin, Rachmaninoff, Prokofieff, Bartók  ただし、Debussy, Scriabin, Rachmaninoff, Prokofieff, Bartók については、練習曲以外の作品を演奏すること。  ※ b) と c) を合わせて15分以上になるように、プログラムを組むこと。</p> <p>I) 演奏は、すべて暗譜とする。  II) 本年度は追加の課題曲は課さない。  III) 8小節までの繰り返しは自由とする。それ以外の繰り返しは省略する。  IV) b), c) については、ソナタ・組曲からの楽章の抜粋は可。変奏曲の抜粋は認めない。  V) 当日、時間の都合により一部を省略させる事がある。  VI) 曲順は、a), b), c) の順とする。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲																																																																																										
器 鍵 盤 楽 器	オルガン (O r g)	<p>専攻実技試験で使用するオルガンの仕様</p> <table border="0"> <tr> <td><u>Pedal</u></td> <td></td> <td>13. Krummhorn</td> <td>8'</td> <td>26. Nasard</td> <td>2<math>\frac{2}{3}</math>'</td> </tr> <tr> <td>1. Subbass</td> <td>16'</td> <td>14. Tremulant</td> <td></td> <td>27. Superoktav</td> <td>2'</td> </tr> <tr> <td>2. Principalbass</td> <td>8'</td> <td>15. I/P</td> <td></td> <td>28. Mixtur</td> <td>4f</td> </tr> <tr> <td>3. Rohrpommer</td> <td>8'</td> <td>16. II/P</td> <td></td> <td>29. Trompete</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>4. Choralflöte</td> <td>4'</td> <td>17. III/P</td> <td></td> <td>(III) Schwellwerk</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. Piffaro</td> <td>2f</td> <td>18. III/I</td> <td></td> <td>30. Rohrflöte</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>6. Dulcian</td> <td>16'</td> <td>19. I/II</td> <td></td> <td>31. Salicional</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>20. III/II</td> <td></td> <td>32. Vox coelestis</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td><u>(I) Brustwerk</u></td> <td></td> <td><u>(II) Hauptwerk</u></td> <td></td> <td>33. Principal</td> <td>4'</td> </tr> <tr> <td>7. Holzgedackt</td> <td>8'</td> <td>21. Quintade</td> <td>16'</td> <td>34. Blockflöte</td> <td>2'</td> </tr> <tr> <td>8. Spillpfeife</td> <td>4'</td> <td>22. Principal</td> <td>8'</td> <td>35. Sesquialtera</td> <td>2f</td> </tr> <tr> <td>9. Principal</td> <td>2'</td> <td>23. Gemshorn</td> <td>8'</td> <td>36. Scharff</td> <td>3f</td> </tr> <tr> <td>10. Terz</td> <td>1<math>\frac{3}{5}</math>'</td> <td>24. Oktav</td> <td>4'</td> <td>37. Hautbois</td> <td>8'</td> </tr> <tr> <td>11. Oktav</td> <td>1'</td> <td>25. Holztraverse</td> <td>4'</td> <td>38. Tremulant</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12. Cymbel</td> <td>3f</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>[演奏補助装置] Handregister+2 Freie Kombinationen, Zungen ab, Mixtur ab (Klais社製)</p>	<u>Pedal</u>		13. Krummhorn	8'	26. Nasard	2 $\frac{2}{3}$ '	1. Subbass	16'	14. Tremulant		27. Superoktav	2'	2. Principalbass	8'	15. I/P		28. Mixtur	4f	3. Rohrpommer	8'	16. II/P		29. Trompete	8'	4. Choralflöte	4'	17. III/P		(III) Schwellwerk		5. Piffaro	2f	18. III/I		30. Rohrflöte	8'	6. Dulcian	16'	19. I/II		31. Salicional	8'			20. III/II		32. Vox coelestis	8'	<u>(I) Brustwerk</u>		<u>(II) Hauptwerk</u>		33. Principal	4'	7. Holzgedackt	8'	21. Quintade	16'	34. Blockflöte	2'	8. Spillpfeife	4'	22. Principal	8'	35. Sesquialtera	2f	9. Principal	2'	23. Gemshorn	8'	36. Scharff	3f	10. Terz	1 $\frac{3}{5}$ '	24. Oktav	4'	37. Hautbois	8'	11. Oktav	1'	25. Holztraverse	4'	38. Tremulant		12. Cymbel	3f				
		<u>Pedal</u>		13. Krummhorn	8'	26. Nasard	2 $\frac{2}{3}$ '																																																																																					
		1. Subbass	16'	14. Tremulant		27. Superoktav	2'																																																																																					
		2. Principalbass	8'	15. I/P		28. Mixtur	4f																																																																																					
3. Rohrpommer	8'	16. II/P		29. Trompete	8'																																																																																							
4. Choralflöte	4'	17. III/P		(III) Schwellwerk																																																																																								
5. Piffaro	2f	18. III/I		30. Rohrflöte	8'																																																																																							
6. Dulcian	16'	19. I/II		31. Salicional	8'																																																																																							
		20. III/II		32. Vox coelestis	8'																																																																																							
<u>(I) Brustwerk</u>		<u>(II) Hauptwerk</u>		33. Principal	4'																																																																																							
7. Holzgedackt	8'	21. Quintade	16'	34. Blockflöte	2'																																																																																							
8. Spillpfeife	4'	22. Principal	8'	35. Sesquialtera	2f																																																																																							
9. Principal	2'	23. Gemshorn	8'	36. Scharff	3f																																																																																							
10. Terz	1 $\frac{3}{5}$ '	24. Oktav	4'	37. Hautbois	8'																																																																																							
11. Oktav	1'	25. Holztraverse	4'	38. Tremulant																																																																																								
12. Cymbel	3f																																																																																											
第一回	<p>(A) J. S. Bach “Orgelbüchlein” より次の曲から当日指定する。 BWV602, BWV606, BWV610, BWV614, BWV615, BWV617, BWV621, BWV624, BWV628, BWV630, BWV632, BWV633, BWV638, BWV641, BWV644</p> <p>(B) D. Buxtehude : Praeludium fis-moll BuxWV 146</p>																																																																																											
第二回	<p>(A) F. Mendelssohn-Bartholdy : Sonate V D-Dur op.65/5 全楽章</p> <p>(B) J. S. Bach : Präludium und Fuge G-Dur BWV 550</p>																																																																																											
<p>(注1) 第一回 (B) のD. Buxtehude : Praeludium fis-moll BuxWV 146は暗譜演奏とする。 (注2) 当日, 時間の都合により一部を省略させることがある。 (注3) 各課題曲のレジストレーションについては, レジスタータイムに標準的なものを 大学側が示すので, 適宜参考にしてもよい。</p>																																																																																												

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 弦 楽 器	ヴァイオリン (Vn)	<p>(A) 音階 Carl Flesch : Scale system より ハ長調 (C Major) で、次のイ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘの各種を下記を参照し、演奏すること。</p> <p>(イ) 音階, 分散和音, 分散3度, 半音階 (ロ) 3度の重音 (ハ) 6度の重音 (ニ) 8度の重音 (ホ) フィンガード・オクターヴ (ヘ) 10度の重音</p>  <p>(ロ)</p>  <p>(ハ)</p>  <p>(ニ)</p>  <p>(ホ)</p>  <p>(ヘ)</p>  <p>※指定されたスラーを厳守すること。フィンガリングは自由。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>
		第 一 回

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器	弦	ヴァイオリン (Vn)	第一回	(B) Paganini : 24 Caprices Op.1 より 第4番 ※繰り返しは無しとする。  (注) すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は (A) (B) の順とする。
			第二回	(A) J. S. Bach : Partita No.1 口短調 (B Minor) BWV1002 より Sarabande ※繰り返しは無しとする。 ※ドゥーブル (Double) は無しとする。  (B) Tchaikovsky : Violin Concerto ニ長調 (D Major) Op.35 第1楽章 Allegro moderato (カデンツアの終わりまで)  (注) すべて暗譜とし、使用する楽譜の版は特に指定しない。 (B) はピアノ伴奏付きで演奏する。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は (A) (B) の順とする。
楽器				

## 試験内容及び課題曲の補足説明について (ヴァイオリン)

平成27年10月8日(木)より配布している「平成28年度東京藝術大学音楽学部・別科入学者選抜試験 試験内容及び課題曲」について、以下のとおり補足説明します。

### 器楽科 弦楽器専攻 ヴァイオリン

#### 第1回

(A) 平成27年10月8日発表のとおり

(B) Paganini : 24 Caprices Op.1 より

第4番

**※繰り返しは無しとする。**

(注) 平成27年10月8日発表のとおり

#### 第2回

(A) J. S. Bach : Partita No. 1 口短調 (B Minor) BWV1002 より  
Sarabande

※繰り返しは無しとする。

**※ドゥーブル (Double) は無しとする。**

(B) 平成27年10月8日発表のとおり

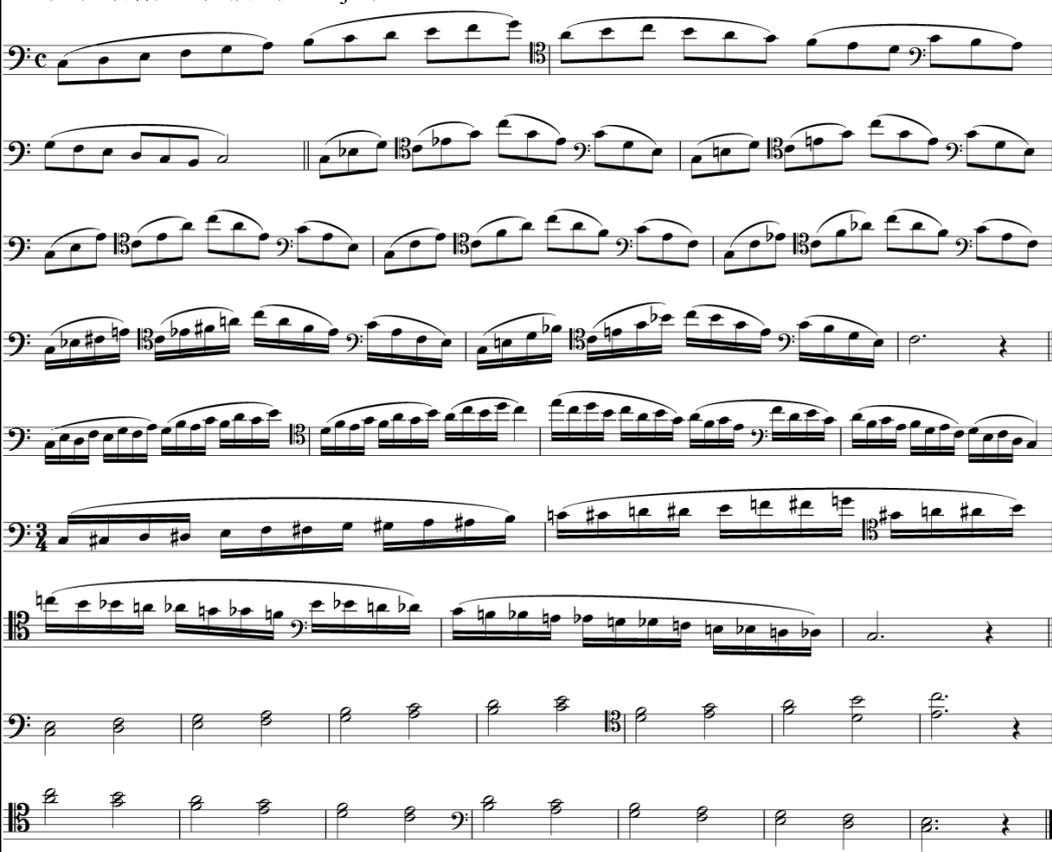
(注) 平成27年10月8日発表のとおり

※太字下線部分が補足説明箇所となる。

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 弦 楽 器	ヴァイオラ (Va)	<p>(A) 音階 Carl Fresch : Scale System (ヴァイオラ用に編曲された版〈Carl Fischer版〉より) ハ短調 (C Minor) で、次のイ、ロ、ハ、ニの各種を下記を参照し、演奏すること。</p> <p>(イ) 音階, 分散和音, 分散3度, 半音階 (ロ) 3度の重音 (ハ) 6度の重音 (ニ) 8度の重音</p> <p>(イ) </p> <p>(ロ) </p> <p>(ハ) </p> <p>(ニ) </p> <p>※指定されたスラーを厳守すること。フィンガリングは自由。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>
		第一回

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器	弦	ヴァイオリン (V a)	第一回	<p>(B) Palaschko : 20 Studies Op.36 より No.14 Vivace</p> <p>(C) J. S. Bach : 無伴奏チェロ組曲第4番変ホ長調 (E♭ Major) BWV1010 (ヴァイオリン用に編曲された版) より Allemande</p> <p>※繰り返しは無しとし、使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は (A) (B) (C) の順とする。 使用する楽譜の版は特に指定しない。</p>
				第二回
楽器				



科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器	チエロ (Vc)	<p>第二回</p> <p>(A) J.S.Bach : 無伴奏組曲第3番ハ長調 (C Major) BWV1009 より Allemande ※繰り返しは無しとする。使用する楽譜の版は特に指定しない。</p> <p>(B) J.Haydn : Concerto ニ長調 (D Major) Hob.VII b-2 より 第3楽章 Allegro ※Henle版を使用すること。</p> <p>(注) すべて暗譜とする。 (B) はピアノ伴奏付きで演奏する。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) 時間の都合により一部を省略させることがある。 演奏は (A) (B) の順とする。</p>
	弦楽 コントラバス (Cb)	<p>第一回</p> <p>(A) 音階 ハ長調 (C Major)</p>  <p>※フィンガリングは自由とする。</p> <p>(B) Progressive Etüden für Kontrabass Heft1 より Nr.30 Allegro ※Doblinger版を使用すること。</p> <p>(C) 86 Etudes for String bass by J.Hrabe より Book II No.56 Allegro Moderato</p> <p>(注) 全て暗譜とする。 演奏は (A) (B) (C) の順とする。 楽器の貸与はしない。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

※コントラバスの楽譜の版について  
指定された楽譜の版で入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡すること。

科		専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
器	弦	コントラバス (C b)	第 二 回	F.A.Hoffmeister : Konzert Nr.1 ハ長調 (C Major) より 第1楽章 Allegro 第2楽章 Adagio (56小節目まで) ※ホフマイスター版とする。  (注) すべて暗譜とする。 ピアノ伴奏付きで演奏すること。 (伴奏者は本学で用意する。伴奏者の同伴は認めない。) ノーマルチューニングで演奏すること。 伴奏の前奏部分の省略は当日指定する。 時間の都合により一部を省略させることがある。 楽器の貸与はしない。
				第 一 回
	楽 器	ハ ー プ (H p)	第 二 回	L.Spohr : Fantasie c-moll für Harfe Op.35  (注) すべて暗譜とし、繰り返しは無しとする。 使用する楽譜の版は特に指定しない。 時間の都合により一部を省略させることがある。
			第 一 回	

## 試験内容及び課題曲の補足説明について (コントラバス)

平成27年10月8日(木)より配布している「平成28年度東京藝術大学音楽学部・別科入学者選抜試験 試験内容及び課題曲」について、以下のとおり補足説明します。

### 器楽科 弦楽器専攻 コントラバス

第1回 平成27年10月8日発表のとおり

第2回

F. A. Hoffmeister : Konzert Nr. 1 ハ長調 (C Major) より  
第1楽章 Allegro  
第2楽章 Adagio (56小節目まで)  
**※ホフマイスター版とする。**

(注) 平成27年10月8日発表のとおり

※太字下線部分が補足説明箇所となる。



科	専攻 (声種・楽器等)		試験内容及び試験曲				
器	管	木	クラリネット (C1)	第一回	(1) E. Cavallini : 30 Capricci No.25~28の4曲 (Ricordi版) (2) A. Uhl : 48 Etüden für Klarinette No.3~8の6曲 (Schott版) (3) C. Stamitz : Klarinetten-Konzert Nr.3 B-Dur (何版にても可) より 第1楽章, 第2楽章  (注) (1) (2) (3) とも演奏箇所は当日指定する。		
				第二回	(1) C. M. v. Weber : Konzert Nr.1 f-moll für Klarinette und Orchester Op.73 第1楽章 (ベールマンのカデンツァを含む) C. M. v. Weber : Konzert Nr.2 Es-Dur für Klarinette und Orchester Op.74 第1楽章 上記2曲のうち, 1曲を選んで演奏すること。  (2) a) U. Delécluse : 14 Grandes Etudes pour la Clarinette sur des motifs d'œuvres classiques et modernes (Leduc版) より 第3, 5, 6, 8, 9, 12, 14番の中より任意の曲を1曲 b) A. Uhl : 48 Etüden für Klarinette (Schott版) より No.12 c) G. Donizetti : Studie 最初から101小節目まで d) G. Jacob : Five Pieces for solo clarinet より 2.Waltz と 5.Scherzo and Trio 上記a) ~ d) の中から, ひとつを選んで演奏すること。		
			打楽器	管	ファゴット (Fg)	第一回	J.Weissenborn : Studies for Bassoon Op.8 Vol. II (何版にても可) No.1~No.21の中から当日指定する。
						第二回	(1) K. Stamitz : Konzert F-Dur für Fagott und Orchester 第1楽章 (Sikorski版) カデンツァあり  (2) J. Weissenborn : Studies for Bassoon Op.8 Vol. II (何版にても可) No.22~No.43より任意の1曲を演奏すること。
	楽器	管	サクソフォン (Sx)	第一回	(1) Ferling : 48 etudes (Leduc版) より No.8, 9, 11, 26, 27, 28, 31, 32, 48, 49 の中から当日指定する。  (2) P. Creston : Sonata 第1楽章 (Shawnee版)		
				第二回	(1) A. Glazounov et A. Petiot : Concerto en mi bémol (Leduc版) より 練習番号1から16までを演奏すること。  (2) a) P. Bonneau : Caprice en forme de Valse (Leduc版) b) P. Creston : Sonata 第3楽章 (Shawnee版) c) A. Désenclos : Prélude, Cadence et Finale より Prélude, Cadence (Leduc版) d) P. M. Dubois : Concerto 第1楽章 (Leduc版) e) J. Ibert : Concertino da Camera 第2楽章 28 Animato molto から終わりまで (Leduc版) f) R. Boutry : Divertimento 第2, 3楽章 (Leduc版) g) J. Rueff : Sonate 第1楽章 (Leduc版) 上記a) ~ g) の中から, ひとつを選んで演奏すること。  (3) 初見視奏		

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲				
器	管	金	<p>◎金管楽器共通注意事項 ※出版社の指定のないものは、何版にても可。</p> <p><b>第1回</b> (1) 音階 (トランペットを除く) 全ての調の中より当日指定する。但し、下記のリズムパターンで演奏すること。</p>  <p>(例：ユーフォニアム)</p> <p>(2) 課題曲 (注) ホルン、ユーフォニアムは楽譜を持参して使用すること。 それ以外の楽器で暗譜を指定されたもの以外は当日、試験室に用意された楽譜を使用すること。</p> <p><b>第2回</b> (1) 課題曲 (注) 特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。 課題曲にはピアノ伴奏をつける。ピアノ伴奏者は本学において用意する。</p>			
			打	楽	<p><b>ホルン (Hr)</b></p> <p><b>第一回</b></p> <p>(1) C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for French Horn, book 1, 2 (Carl Fischer版に限る) より 1~10, 12~19, 21~22, 24~31, 39~41 演奏箇所は当日指定する。 注1) 全てin Fで演奏すること。ただし5番はin F, E, E<math>\flat</math>, Dも含む。</p> <p>(2) Franz Strauss : Thema und Variationen op.13 (Muzikverlag Zimmerman) より Introduktion (7小節目4拍目~27小節目1拍目まで) 注1) 21小節目は上の段を演奏すること。(譜例参照)</p>  <p>注2) 暗譜にて演奏すること。</p>	
					<p><b>第二回</b></p> <p>W. A. Mozart : Konzert fuer Horn und Orchester Nr.4 Es-dur K.495より第1楽章 (カデンツァなし) 第2楽章 演奏箇所は当日指定する。 (版指定なし)</p>	
			楽	器	管	<p><b>トランペット (Tp)</b></p> <p><b>第一回</b></p> <p>(1) Arban : Complete Grand Method (全音楽譜出版社版) より長音階P.65~P.80, 短音階P.81 第70~81番まで 上記の中より当日指定する。 (注) 長音階第16, 22, 28, 34, 41, 50, 56, 62, 68, 69番は除く。</p> <p>(2) C. Kopprasch : 60 Etudes for Trumpet (全音楽譜出版社版) (P.5~P.33) 第6番~44番の中より当日指定する。</p> <p>(3) Théo Charlier : Trente-six Etudes Transcendantes pour Trompette Cornet à Pistons ou Bugle Si<math>\flat</math> Nouvelle édition (Leduc版) No.1, 2, 5より当日指定する。</p>
						<p><b>第二回</b></p> <p>Eugène Bozza : RUSTIQUES (ALPHONSE LEDUC版) (注) B<math>\flat</math> Trumpetを使用のこと。</p>

## 試験内容及び課題曲の一部訂正について (ホルン)

平成27年10月8日（木）より配布している「平成28年度東京藝術大学音楽学部  
・別科入学者選抜試験 試験内容及び課題曲」の一部に誤りがありましたので、  
以下のとおり訂正します。

### 器楽科 管打楽器専攻 ホルン P.19

(誤)

第一回

(2) Franz Strauss : **Tema** und Variationen op. 13 (Muzikverlag Zimmerman) より  
Introduktion (7小節目4拍目～27小節目1拍目まで)



(正)

第一回

(2) Franz Strauss : **Thema** und Variationen op. 13 (Muzikverlag Zimmerman) より  
Introduktion (7小節目4拍目～27小節目1拍目まで)

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲		
器 管 金  打 楽 器 管	金 管 楽 器	<p>◎テナー・トロンボーン，バス・トロンボーン共通注意事項 E. Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music版) より下記の部分</p>  <p>第7ポジションまで演奏のこと。(注) 暗譜とする。</p>		
		テナー・トロンボーン (T T b)	第一回	<p>C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) (A) No.26 暗譜で演奏すること。 (B) No.29, 34, 35, 36, 37, 39, 41, 42, 43, 44の中から当日指定する。楽譜は使用して良い。</p>
			第二回	<p>A. Guilmant : Morceau Symphonique Op.88 (Schott版またはKalmus版) (注) 暗譜とする。</p>
		バス・トロンボーン (B T b)	第一回	<p>C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) (A) No.(19) 暗譜で演奏すること。 (B) No.(37), (42), 43, 46, (49), 50, (52), (54), 55, 56の中から当日指定する。 楽譜は使用して良い。 (注) ( ) の曲は1オクターブ下で演奏すること。他は記譜通り。</p>
			第二回	<p>E. Ewazen : Concerto for Tuba or Bass Trombone 第1楽章 (ITA Southern版) (注) 暗譜とする。</p>
		ユーフォニアム (Euph)	第一回	<p>C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.6~No.33 (No.29は除く) より、当日指定する。</p>
			第二回	<p>P. V. De laNux : Solo de Concours pour Trombone et piano (Leduc版) , Concert Piece for Trombone or Baritone and Piano (Southern music company版) どちらの版でもよい。 (注) 暗譜とする。</p>
		チューバ (Tu)	第一回	<p>C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (Hoffmeister版) No.6~No.33の中より、当日指定する。</p>
			第二回	<p>A. Lebedjew : Konzert für Tuba und Klavier (Konzert Nr.1) (Hoffmeister版) (注) 暗譜とする。 ※第1回, 第2回とも, C管かB♭管を使用すること。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 管 打 楽 器 楽 器	打 楽 器 (Pc)	<p>◎打楽器共通注意事項</p> <p><b>第1回</b> 1. リズム感のテスト 2. 任意の打楽器を用いてリズムをとりながら日本歌曲「浜辺の歌（成田為三作曲）」を歌詞をつけて歌う。 3. 聴音 ピアノにより音を与え音名を答えさせる。</p> <p><b>第2回</b> 1. 任意の打楽器を用いて音楽表現を試みる。（楽器のセットアップを含めて2分以内） 2. 初見視奏</p>
		<p><b>小太鼓</b></p> <p>(1) 小太鼓の基本打法 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, 9つ打ち, ロール ( , , , ffのロール10秒)</p> <p>(2) C. Wilcoxon : The All-American Drummer 150 Rudimental Solos (Ludwig Music版) No.1~No.10, No.31~No.40の中から当日指定する。</p> <p><b>マリンバ</b></p> <p>(1) 音階 下記の音型による各調の中より当日指定。 M.M. ♩ = 100~120</p>  <p>(2) 課題曲 J. S. Bach : Sonaten und Partiten BWV 1001-1006 für Violine solo (Edition Peters版) より Sonata I ~ Fuga, Presto (曲の一部を指定することもある)</p> <p>(3) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, ロール (注) 小太鼓は, 各自持参すること。</p> <p><b>ティンパニ</b></p> <p>(1) チューニング (当日指定した音程をつくること)</p> <p>(2) ロール ff, pp, ,  等</p> <p>(3) S. Goodman : Modern Method for Timpani (Belwin-Mills版) よりP.24~P.35までの中から当日指定する。</p> <p>(4) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, ロール (注) 小太鼓は, 各自持参すること。</p> <p style="text-align: right;">(次ページに続く)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 管 打 楽 器	打 楽 器 (Pc)	<p style="text-align: center;"><b>第 二 回</b></p> <p><b>小太鼓</b>  (1) A. J. Cirone : Portraits in Rhythm (Belwin-Mills版)  No.1, 13, 20, 35, 41, 43の中より当日指定する。</p> <p>(2) 鍵盤打楽器で音階2オクターブ演奏 (各調の中より当日指定する。—Dolce, Staccato等, 表情をつけて)  (例)</p>  <p>(3) 三善晃 : 会話より1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリンバ曲集Ⅱ)</p> <p><b>マリンバ</b>  (1) 自由曲  (2) 小太鼓による演奏  Collection Drum Solos (Ludwig Music社版) P.4~P.11の中から当日指定する。  (注) 小太鼓は, 各自持参すること。</p> <p><b>ティンパニ</b>  (1) L. v. Beethoven : Concerto for Violin and Orchestra ニ長調 冒頭から6小節間  A. Khachaturian : Gayne Ballet suite 1 より Sabre Dance 冒頭から27小節間  (注) いずれもオーケストラパートを歌いながらティンパニを奏すること。</p> <p>(2) 小太鼓による演奏  Collection Drum Solos (Ludwig Music社版) P.4~P.11の中から当日指定する。  (注) 小太鼓は, 各自持参すること。</p> <p>(3) 鍵盤打楽器で音階2オクターブ演奏 (各調の中より当日指定する。—Dolce, Staccato等, 表情をつけて) (小太鼓の(2)譜例を参照のこと)</p> <p>(4) 三善晃 : 会話より1, 3, 4 (音楽之友社・現代日本マリンバ曲集Ⅱ)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲
器 古   楽 楽		<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>①ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ (a'=415, 8'8"4', FF-f") のみとする。</p> <p>②バロックヴァイオリン、リコーダーに必要なチェンバロ伴奏者は同伴すること。</p> <p>③すべての受験生は、受験曲目提出用紙に演奏する作品名を書いて、出願とともに教務係に提出すること。</p> <p>④各自の演奏する楽譜を3部ずつ用意して演奏順に綴じ (A4判に揃え、左上端を1箇所ホチキスで止める)、出願とともに教務係に送付すること。所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。このとき、声楽科伴奏楽譜送付用封筒を用いてはならない。</p>
	チェンバロ (C e m b)	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。繰り返し記号による繰り返しはすべて省略)</p> <p>①J. S. Bach : Das wohltemperierte Klavier 第1巻より Praeludium und Fuga Nr.4, cis-Moll (BWV 849)</p> <p>②J. S. Bach : Das wohltemperierte Klavier 第2巻より Praeludium und Fuga Nr.1, C-Dur (BWV 870)</p> <p>③次の3曲のD. Scarlattiのソナタより任意の2曲 K.87 (h-Moll), K.104 (G-Dur), K.201 (G-Dur)</p> <p>④G. Böhm : Suite, c-Moll (全楽章)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	バロックヴァイオリン (B V n)	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>①次のイ) かロ) どちらかから任意の1曲を演奏する。 イ) D. CastelloまたはG. B. FontanaまたはG. P. Cimaのソナタから1曲 ロ) F. Geminiani : The Art of playing on the violin (1751) のCompositionから1曲</p> <p>②F. Couperin : 任意のコンセールから2つの楽章</p> <p>③G. F. Handel, A. Corelli, J-M. Leclair のソナタより任意の1曲</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>
	リコーダー (R e c)	<p>I. 下記の課題曲を演奏する。(当日一部省略を指示することがある。)</p> <p>①Jacob van Eyck : 「笛の楽園」より任意の1曲 (ソプラノリコーダーを使用。ピッチは自由)</p> <p>②Jacques Martin Hotteterre : Suite 第3番 Sonate (Oeuvre Ve 1715年) より任意の3つの楽章 (バロックタイプのトレブルを使用。ピッチはa'=415。へ長調に移調して演奏。)</p> <p>③Francesco Barsanti : 作品1 (1724年) より任意のソナタ1曲 全楽章 (バロックタイプのトレブルを使用。ピッチはa'=415)</p> <p>II. 当日課する通奏低音課題を、チェンバロで実施する。(予見時間5分)</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
指揮		第 一 回	<p>(1) 聴音 (a) 単旋律及び複旋律 (ピアノによる) (b) 受験者に楽譜を与え、試験委員の行う演奏との相違点を指摘させ、聴覚的判断力、和声感覚の能力を試験する。</p> <p>(2) 新曲視唱</p> <p>(3) 課題曲 Ludwig van Beethoven : Symphonie Nr.5 op.67 全楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。(ピアノによる)</p>
		第 二 回	<p>(1) 課題曲 Bartók Béla : Divertimento für Streichorchester 第1楽章の中より当日、部分を指定して指揮させる。(合奏による)</p> <p>(2) ピアノによる簡易なスコア初見視奏</p> <p>(3) 器楽試験 弦楽器 (ハープを含む)、管打楽器又はピアノのいずれかにより任意の曲を演奏させる。</p> <p>(4) 適性検査 (ハーモニー感、リズム感等)</p> <p>(5) 音楽一般に関する試問</p> <p>(注1) 第2回の(3)器楽試験においては、弦楽器及び管打楽器の種類選択は任意とし、楽譜視奏も差し支えないが、すべて無伴奏とする。</p> <p>(注2) 前号の器楽試験をピアノで受ける場合も、副科実技等の副科ピアノ試験は、別に受けなければならない。</p>

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲																	
<p>◎邦楽共通注意事項            受験者は、志願する部門に応じて下記の課題曲および自由曲を暗譜で演奏すること。            ただし、長唄・常磐津・清元の各志願者は、唄本（歌詞のみ）を用いてよい。            各専攻とも、二次試験に面接を課す。</p>																			
邦楽	三味線音楽	長唄三味線 常磐津三味線 清元三味線 長唄 常磐津 清元	<table border="1" data-bbox="491 353 1366 875"> <thead> <tr> <th>志願部門</th> <th>課題曲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">長唄三味線 長唄</td> <td>「越後獅子」(九世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> <tr> <td>「勸進帳」(四世杵屋六三郎作曲) (延年の舞・瀧流し合方なし)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">常磐津三味線 常磐津</td> <td>「夕月船頭」(五世岸澤式佐作曲)</td> </tr> <tr> <td>「松島」(六世岸澤式佐作曲)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">清元三味線 清元</td> <td>「六玉川」(三世鳥羽屋里長作曲)</td> </tr> <tr> <td>「子守」(初世清元齋兵衛作曲)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">邦楽囃子(小鼓) " (大鼓) " (太鼓) " (笛)</td> <td>「新曲浦島」 (十三世杵屋六左衛門・五世杵屋勘五郎作曲)</td> </tr> <tr> <td>「花見踊」(三世杵屋正治郎作曲)</td> </tr> <tr> <td>「鶴亀」(十世杵屋六左衛門作曲)</td> </tr> <tr> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>当日、この曲の中より試験官の指定する曲とその箇所を演奏すること。</p>	志願部門	課題曲	長唄三味線 長唄	「越後獅子」(九世杵屋六左衛門作曲)	「勸進帳」(四世杵屋六三郎作曲) (延年の舞・瀧流し合方なし)	常磐津三味線 常磐津	「夕月船頭」(五世岸澤式佐作曲)	「松島」(六世岸澤式佐作曲)	清元三味線 清元	「六玉川」(三世鳥羽屋里長作曲)	「子守」(初世清元齋兵衛作曲)	邦楽囃子(小鼓) " (大鼓) " (太鼓) " (笛)	「新曲浦島」 (十三世杵屋六左衛門・五世杵屋勘五郎作曲)	「花見踊」(三世杵屋正治郎作曲)	「鶴亀」(十世杵屋六左衛門作曲)	
	志願部門	課題曲																	
	長唄三味線 長唄	「越後獅子」(九世杵屋六左衛門作曲)																	
「勸進帳」(四世杵屋六三郎作曲) (延年の舞・瀧流し合方なし)																			
常磐津三味線 常磐津	「夕月船頭」(五世岸澤式佐作曲)																		
	「松島」(六世岸澤式佐作曲)																		
清元三味線 清元	「六玉川」(三世鳥羽屋里長作曲)																		
	「子守」(初世清元齋兵衛作曲)																		
邦楽囃子(小鼓) " (大鼓) " (太鼓) " (笛)	「新曲浦島」 (十三世杵屋六左衛門・五世杵屋勘五郎作曲)																		
	「花見踊」(三世杵屋正治郎作曲)																		
	「鶴亀」(十世杵屋六左衛門作曲)																		
邦楽囃子	邦楽囃子	<p>A. 自由曲1曲 明治45年(西暦1912年)以前に作曲された曲で、第1回課題曲を除いたものを選ぶこと。時間を要する曲で、上・中・下にわかれているものは、それぞれ各1曲とする。</p> <p>B. 志願部門の課題曲より、下記区分に従い1曲を選ぶこと。</p> <table border="1" data-bbox="491 1099 1050 1464"> <thead> <tr> <th>志願部門</th> <th>選択分野</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>長唄三味線</td> <td>長唄</td> </tr> <tr> <td>常磐津三味線</td> <td>常磐津</td> </tr> <tr> <td>清元三味線</td> <td>清元</td> </tr> <tr> <td>長唄</td> <td>長唄三味線</td> </tr> <tr> <td>常磐津</td> <td>常磐津三味線</td> </tr> <tr> <td>清元</td> <td>清元三味線</td> </tr> <tr> <td>邦楽囃子</td> <td>長唄三味線又は長唄</td> </tr> </tbody> </table>	志願部門	選択分野	長唄三味線	長唄	常磐津三味線	常磐津	清元三味線	清元	長唄	長唄三味線	常磐津	常磐津三味線	清元	清元三味線	邦楽囃子	長唄三味線又は長唄	
志願部門	選択分野																		
長唄三味線	長唄																		
常磐津三味線	常磐津																		
清元三味線	清元																		
長唄	長唄三味線																		
常磐津	常磐津三味線																		
清元	清元三味線																		
邦楽囃子	長唄三味線又は長唄																		
<p>(長唄三味線・常磐津三味線・清元三味線・長唄・常磐津・清元・邦楽囃子共通注意事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>三味線の試験においては、受験者には三味線のみを弾かせ、唄・浄瑠璃は係員が担当をする。唄・浄瑠璃の試験においてはその反対。</li> <li>邦楽囃子の試験においては、「地」は係員が担当する。</li> <li>上記1.及び2.に関わらず、各自の選んだ自由曲について、本学部が伴奏者の同伴を必要と判断した場合は、その旨を平成28年2月中旬までに試験時連絡先へ通知する。この場合、受験者は試験当日伴奏者を同伴すること。</li> <li>邦楽囃子の楽器は各自持参を原則とするが、長唄三味線は本学で用意した楽器を使用する。常磐津・清元三味線の楽器は各自持参すること。</li> <li>邦楽囃子のうち、笛の受験者は能管及び4本から8本までの調子の竹笛を持参すること。竹笛の調子は試験当日に指定する。</li> <li>唄、浄瑠璃の試験に関しては、扇子を持参すること。</li> <li>邦楽一般及び三味線音楽について簡単な試問・調絃を行うことがある。</li> <li>邦楽囃子第2回Bにおいては、譜面使用可とする。</li> </ol>																			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
邦楽	邦楽 囃子  現代邦楽囃子	第一回	課題曲 「颯踏」 長澤勝俊作曲 打楽器のパートは当日指定する。
		第二回	(1) 課題曲 笛・打楽器それぞれ下記の曲より1曲を当日指定する。 笛：「ダンスコンセルタント 第1番・第3章 秋そして」三木稔作曲 「郢曲 鬢多々良」 伊福部昭作曲 打楽器：「子どものための組曲」 長澤勝俊作曲 「秋の一日」 長澤勝俊作曲 「邦楽器のためのインプロヴィゼーション」 秋岸寛久作曲  (2) 五線譜による初見視奏 笛：六本と八本の笛を準備すること。 打楽器：大太鼓による初見視奏。  (3) 口頭試問
		(注) 1. 第1, 2回試験は譜面を使用してもよい。 2. 第1, 2回試験の打楽器は本学で準備した楽器を使用すること。 3. 笛, パチは各自準備すること。 4. 第1, 2回試験の打楽器, 笛パートは当日指定する。 5. 第1, 2回試験とも独奏で演奏すること。 6. 課題曲の譜面が入手困難な場合は, 本学音楽学部教務係に連絡すること。 7. 第1, 2回試験の笛は竹笛(篠笛)をさす。	
邦楽	日本舞踊	第一回	課題曲2曲 男形 長唄 「供奴」 女形 常磐津 「屋敷娘」 本学の用意したテープで, 両曲, 試験官の指定した箇所を踊る。 (注) 長唄はコロムビア版, 芳村伊十郎全集, 常磐津はビクター版, 邦楽舞踊シリーズ [常磐津] より, 常磐津千東勢太夫の演奏による録音テープを使用する。
		第二回	A. 自由曲1曲 課題曲を除いた曲を選ぶ。 当日録音テープを持参, 提出し, 試験官の指定する箇所を踊る。  B. 口頭試問 舞踊に関する基本的な試問を行う。  C. 本学で用意した音を聴いて, その場で振りをつける。
		(注) 第1回・第2回ともに小道具は用いず, 扇子及び手拭いをもって代用すること。	
邦楽	箏曲  山田流	第一回	箏：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。 「江の島曲」 山田検校 作曲 「白の聲」 山登松齡 作曲 「都の春」 三世 山勢松韻 作曲
		第二回	箏：自由曲1曲 第1回の受験曲を除いた古典・近代・現代曲 (第1回で受験した曲以外の課題曲2曲からも選択できる) ※別科を併願する場合は, 別科課題曲を除く。 ※箏の代わりに三絃で受験しても良い。  三絃：課題曲1曲 下記の中から1曲を選択する。 「秋の七草」 文部省音楽取調掛 作曲 「子の日の遊」 二世 山木太賀 作曲

(次ページに続く)

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
邦楽	生田流	第一回	箏：課題曲 1 曲 下記の中から 2 曲を選択し、試験当日そのうちの 1 曲を受験者が抽選により決定する。 「ままの川」(菊岡検校作曲・松野検校箏手付) 一は壺越 (D) 「萩の露」(幾山検校作曲・八重崎検校箏手付) 一は壺越 (D) 「越後獅子」(峰崎勾当作曲・八重崎検校箏手付) 一は双調 (G) 「楓の花(本手)」(松坂春栄作曲) 一は神仙 (C)
		第二回	箏：自由曲 1 曲 1909(明治42)年以降に作曲、又は手付された曲。ただし、楽章単位ではなく 1 曲単位で受験すること。 三絃：課題曲 1 曲 下記の中から 1 曲を選択する。 「八段」(八橋検校作曲) I の糸は壺越 (D) 「千代の壽」(宮城道雄作曲) I の糸は壺越 (D) 「末の契り」(松浦検校作曲) I の糸は壺越 (D)
	現代箏曲	第一回	箏：課題曲 2 曲 下記 4 曲のうち 2 曲を選び、曲目提出用紙に記入し提出すること。 「箏独奏による主題と六つの変奏“さくら”」(藤井凡大作曲) 「鳥のように」(沢井忠夫作曲) 「綺羅」(杵屋正邦作曲) 「手事四綴」(肥後一郎作曲)
	第二回	(1) 箏：自由曲 1 曲 ・ 1950 年以降作曲の箏独奏のための楽曲を選ぶこと。 ・ 各自が演奏する楽曲の楽譜を 1 部提出すること。 ・ 楽譜の書式は問わない(五線譜・縦譜・横譜等)。 ・ 楽譜は任意の封筒を使用して、 <b>書留速達</b> 扱いで願書と別便で、同時郵送すること。送り先は願書と同所とする。 ・ 提出された楽譜は返却しない。 (2) 初見視奏 (3) 口頭試問	
楽	<b>(箏曲共通注意事項)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>第 1 回・第 2 回試験とも暗譜で演奏すること。</li> <li>試験は、箏は立奏(椅子)で行う。三絃は立奏でも座奏でもよい。</li> <li>演奏箇所は試験の際に指示する。</li> <li>第 2 回試験(箏)は、曲名・作曲者名を曲目提出用紙に記入すること。また本手・替手・高音・低音・第 1・第 2 などの区別のある曲は、どのパートで受験するか曲目提出用紙に記入すること。</li> <li>邦楽一般、及び箏曲について簡単な試問を行うことがある。</li> </ol> <b>(山田流試験に関する注意事項)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>原則として箏・三絃ともに各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した箏(テトロン糸 18 匁)・三絃(絹糸)の使用も可能である。なお、曲目提出用紙の所定欄に持参・借用の区別を記入すること。</li> </ol> <b>(生田流試験に関する注意事項)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>箏は本学で用意した楽器(テトロン糸 18 匁)を使用する。</li> <li>三絃は原則として各自の楽器を使用するが、本学で用意した楽器(絹糸)を使用することもできる。(曲目提出用紙に、持参・借用の区別を記入すること)</li> </ol> <b>(現代箏曲試験に関する注意事項)</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>第 1 回、第 2 回試験とも課題曲・自由曲は暗譜で演奏する。</li> <li>演奏は立奏(椅子)で行う。</li> <li>演奏範囲はそれぞれ、曲の冒頭から試験官が止めるまで演奏すること。任意の箇所を指定する場合もある。</li> <li>箏は本学で用意した楽器(テトロン糸)を使用する。</li> <li>山田流・生田流どちらの箏で受験しても構わない。</li> </ol>		

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
邦	尺八	第一回	<p>選択曲 1曲            下記のうちから1曲を選んで演奏する。            琴古流「三谷菅垣」「雲井獅子」            都山流「木枯」「朝風」(流祖中尾都山作曲)            五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。</p>
		第二回	<p>課題曲 1曲 尺八本曲            琴古流「一二三鉢返調」            都山流「峰の月」(流祖中尾都山作曲)</p> <p>選択曲 2曲 ①外曲古典            下記のうちから1曲を選んで演奏する。            「都の春」「近江八景」「楫枕」「茶音頭」</p> <p>②外曲新曲            下記のうちから1曲を選んで演奏する。            「赤壁賦」(中能島欣一作曲)            「春の訪れ」(宮城道雄作曲)            「春の海」(宮城道雄作曲)</p> <p>※②外曲新曲については、五孔の一尺六寸管(竹製)を用いること。            ※琴古流の「赤壁賦」は、邦楽社刊箏譜「赤壁賦」(中能島欣一著)に掲載の尺八譜による。</p> <p>ア. 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること(選択曲②は除く)。            イ. 演奏箇所は、試験の際に指示する。            ウ. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。            エ. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</p>
		<p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>尺八受験者は出願の際、琴古流・都山流のいずれかを選択し、出願すること。</li> <li>全曲暗譜とする。</li> </ol>	
楽	能楽 (囃子を除く)	第一回	<p>(イ) シテ方(観世流及び宝生流)            (A) 謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び「鶉飼」待謡より終わりまで            (B) 仕舞 「田村」キリ</p> <p>(ロ) ワキ方(下掛宝生流)            (A) 謡曲 「紅葉狩」サシより中入まで、及び「鶉飼」待謡より終わりまで            (B) 仕舞 「春栄」</p> <p>(ハ) 狂言方(和泉流)            (A) 謡曲 「風車」および「柳の下」            (B) 小舞 「花の袖」</p> <p>ただし、謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p>
		第二回	<p>謡曲及び仕舞または小舞自由曲1曲ずつ(ただし、第1回および別科の課題曲を除く。)            謡曲はツヨ吟とヨワ吟のある曲を選ぶこと。謡曲の謡う部分については、当日指定する。</p>
		<p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第1回、第2回とも観世流、宝生流、下掛宝生流、和泉流のいずれかで受験すること。</li> <li>能楽について簡単な試問を行うことがある。</li> <li>受験者は着物、袴、白足袋着用のこと。</li> </ol>	

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲	
邦	能楽囃子	第一回	囃子 下記(イ)～(ニ)より受験する楽器及び課題曲をひとつ選択。 (イ) 笛 (一噌流) 「早舞」三段 (ロ) 小鼓 (幸流) 「天鼓」キリ (ハ) 大鼓 (高安流) 「屋島」キリ (ニ) 太鼓 (観世流) 「山姥」キリ
		第二回	囃子 自由曲(ただし、第1回及び別科の課題曲を除く。) 謡曲 下記の中から1曲を自由選択。(ただし観世流、または宝生流のいずれかで受験すること。) (イ) 「紅葉狩」 サシより中入まで (ロ) 「鶉飼」 待謡より終わりまで (ハ) 「竹生島」 クセ上げより「下界の龍神現れたり」まで
		(注) 1. 上記の曲を一噌流、幸流、高安流、観世流(太鼓)のいずれかで受験すること。 2. 笛、小鼓、太鼓の試験に際しては、各自持参の楽器を使用してもよい。ただし、大鼓については、楽器を使用しない。 3. 能楽について簡単な試問を行うことがある。 4. 受験者は着物、袴、白足袋着用のこと。	
楽	雅楽 笙 箏 龍 笛	第一回	(A) 下記の3曲より1曲を指定し、暗譜による「唱歌テスト」を行う。 (B) 下記の3曲より1曲を指定し、暗譜による「音取」及び「実技テスト」を行う。
		第一回	第1回試験課題曲 1. 𪗇越調「迦陵頻急」 2. 双調「武徳楽」 3. 太食調「抜頭」
		第二回	(C) 下記の課題曲により第1回試験の(A)及び(B)の試験を再度行う。 (D) 「舞」の為のリズムテスト (E) 「雅楽」についての試問をする。
第2回試験課題曲 1. 平調「三臺塩急」 2. 黄鐘調「越殿楽」 3. 盤渉調「千秋楽」			
(注) 1. 雅楽専攻で受験できる楽器は「笙」、「箏」、「龍笛」各専攻の竹製楽器とする。 2. 実技試験は、管絃吹で行う。			

科	専攻 (声種・楽器等)	試験内容及び試験曲等	
楽理		第一回	<p>1. 国語 (試験時間: 2時間) 国語総合・現代文B・古典B</p> <p>2. 外国語 (試験時間: 2時間) 英語 (コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ), ドイツ語, フランス語のうち1科目を選択する。</p>
		第二回	<p>小論文 (含, 口述試問。試験時間: 筆記2時間) 音楽学の学習に必要な基礎的能力を問う課題文。(課題は当日出題する。)</p>
音楽環境創造		第一回	<p>学力検査〔音楽(音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)〕(60分)</p>
		第二回	<p>小論文および面接 (自己表現を含む)</p> <p>●小論文 (120分)</p> <p>●面接 (20分) 自己表現を含む。 ○自己表現 下記の1～3のいずれかを選択し(受験票に記入), 制限時間内(5分)で行うこと。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 演奏 (声を含む) ※音楽能力・音楽的感性をアピールしたい場合</li> <li>2. パフォーマンス (身体表現, 舞踊, 朗読等) ※身体表現能力・演劇的感性をアピールしたい場合</li> <li>3. プレゼンテーション (パネルやチャート図等によるプランの提示, 楽譜等の作品, 研究計画書等) ※演奏技術・身体技能よりも, 企画・アイデアをアピールしたい場合</li> </ol> <p>(自己表現の注意事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1人でできるもの(伴奏者・共演者は認めない。)</li> <li>・セッティングを含めて5分以内で終了すること。</li> <li>・グランドピアノは用意されている。それ以外の楽器は各自持参すること。</li> <li>・AV機器(CD/DVD, ステレオミニフォンプラグのケーブル)は用意されている。</li> <li>・コンピュータを持参して使用することは可能だが, 機器についてのサポートは一切与えられないので, 全て自己責任にて用意すること。</li> <li>・「2. パフォーマンス」を行う試験場の床は一般的なフローリングである。床を傷つけないような演目, 靴, 衣装であること。 (パフォーマンスで使用できる広さは, 幅約8m×奥行き約6m。天井の高さは約2m30cm。)</li> </ul>
			<p>●音楽環境創造科受験者の志望理由書の提出について 音楽環境創造科志願者は, 志望理由書(800字以内。本学所定の用紙に手書きで記入のこと)を願書とともに提出すること。志望理由書は面接時の参考とする。</p>

## ②音楽に関する基礎能力検査

### 1. 筆記試験

#### a) 聴音書き取り (試験時間: 約30分)

単旋律 (1題)

複旋律 (1題)

四声体和声 (1題)

作曲科, 声楽科, 器楽科及び楽理科志願者に課す。  
(33ページの例題程度)

#### b) 楽典 (試験時間1時間)

音楽環境創造科を除く全科の志願者に課す。和声・楽式等作曲法の内容は含まない。

### 2. 実技試験

#### a) 新曲視唱 (1題)

歌詞を伴わない初見唱。作曲科、声楽科、器楽科及び楽理科志願者に課す。

(34ページの例題程度)

#### b) リズム課題 (1題)

作曲科、声楽科、器楽科及び楽理科志願者に課す。(34ページの例題程度)

# 聴音書き取り例題

## 単旋律

♩ = 52



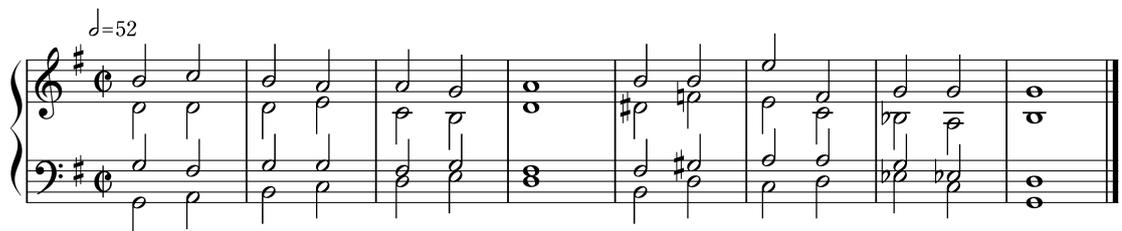
## 複旋律

♩ = 54



## 四声体和声

♩ = 52



## 新曲視唱例題

●作曲科、器楽科、楽理科志願者

♩=60

*mf* *mp* *p* *cresc.* *f*

●声楽科志願者

♩=48

*mf* *mp* *p* *cresc.* *f*

## リズム課題例題

手で拍を振りながら、下記のリズムを音程をつけずに音名で読みなさい（「タ」等のシラブルでも良いが音名で読むことが望ましい）。

●作曲科、器楽科、楽理科志願者

♩=60 ca.

●声楽科志願者

♩=60 ca.

### ③副科実技等

#### 1. 副科ピアノ

受験者区分	試験内容及び課題曲
<p><b>作曲科</b></p> <p><b>器楽科</b> (オルガンのみ)</p> <p><b>指揮科</b></p> <p><b>楽理科</b> (ピアノでの志願者)</p>	<p>次の(イ)、(ロ)、(ハ)から1つ選択すること。</p> <p>(イ) J.S.Bach : Das Wohltemperierte Klavier 平均律ピアノ曲集第1巻、第2巻より任意の1曲(Praeludium及びFugaの両方を準備する事。)</p> <p>(ロ) L. v. Beethoven : Klaviersonaten Op. 2 No. 1, 2, 3 Op. 7 Op. 10 No. 1, 2, 3 Op. 13 Op. 14 No. 1, 2 Op. 22</p> <p>の中から1曲を選び、その第1楽章</p> <p>(ハ) F. Chopin : 練習曲集Op. 10、25より任意の1曲</p> <p>(注) いずれも暗譜とする。繰り返しなし。</p>
<p><b>声楽科</b></p> <p><b>器楽科</b> (弦楽、管打楽)</p>	<p>(1) 音階 : Hanon No. 39の中から当日指定する。 同一調号による長調と短調 但し速度を♩=100程度以上とする。 (注) 長調の音階は繰り返しなし。短調の音階は和声的短音階を1回弾いた後、続けて旋律的短音階を1回弾き、終止形をつけて終わる。</p> <p>(2) 下記のソナチネ、ソナタより1曲を選び、その第1楽章。 Kuhlau : Op. 20 No. 1, 2, 3 Op. 55 No. 1, 2, 3 Clementi : Op. 36 No. 2, 3, 4, 5, 6 Haydn : Hob. XVI/35 (C-dur) Mozart : KV 545 (C-dur) Beethoven : Op. 49 No. 1, 2 Dussek : Op. 20 No. 1</p> <p>(注) (1)、(2)とも暗譜とする。繰り返しなし。</p>

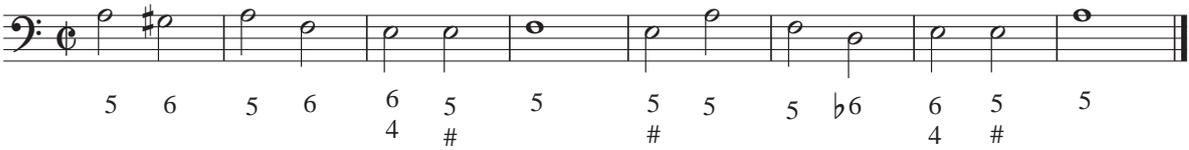
## 2. ピアノ以外の副科実技（楽理科のみ）

受験者区分	試験内容及び課題曲
<p>楽理科は、ピアノ以外の右記の楽器等により副科実技を受験することができる。</p>	<p>オルガン・チェンバロ・弦楽器・管楽器・打楽器・邦楽器（三味線・箏・尺八・邦楽囃子・能楽囃子・雅楽）</p> <p>ただし、弦楽器・管楽器で受験する場合に使用できる楽器は、器楽科弦楽器・管楽器の志願者が出願できる楽器に限る。</p> <p>試験曲は、ヴァイオリン及び邦楽器の場合を除き自由曲である。</p> <p><b>ヴァイオリン課題曲</b></p> <p>W. A. Mozart : Violin Concerto No. 3 in G major, K. 216より 第1楽章、Allegro</p> <p>(注) Cadenzaを除く。暗譜とし、伴奏なし。</p> <p><b>邦楽課題曲</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三味線 <ul style="list-style-type: none"> <li>「小鍛冶」（二世杵屋勝五郎作曲）</li> </ul> </li> <li>・箏曲（山田流） <ul style="list-style-type: none"> <li>「秋の七草」（音楽取調掛作）</li> </ul> </li> <li>・箏曲（生田流） <ul style="list-style-type: none"> <li>「春の曲」（吉沢検校作曲）一＝壺越（D）</li> </ul> </li> <li>・尺八（琴古流・都山流）共通 <ul style="list-style-type: none"> <li>「六段の調」（八橋検校作曲）</li> </ul> </li> <li>・邦楽囃子 <ul style="list-style-type: none"> <li>「五郎時致」（三升屋二三治作詞、十代目杵屋六左衛門作曲）</li> <li>(注) 四拍子の中より一つを選択する。</li> </ul> </li> <li>・能楽囃子 <ul style="list-style-type: none"> <li>笛 「中ノ舞」</li> <li>小鼓 「羽衣 クセ」</li> <li>大鼓 「羽衣 クセ」</li> <li>太鼓 「鶴亀 キリ」</li> </ul> </li> <li>・雅楽 <ul style="list-style-type: none"> <li>平調 「越天楽」</li> <li>(注) 管楽器の中より一つを選択する。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>※上記いずれかの楽器で受験した場合は、副科ピアノを受験する必要はない。</b></p>

### 3. ピアノ新曲

受験者区分	試験内容及び課題曲
作曲科	初見奏

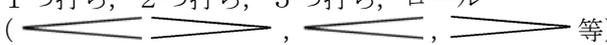
### 4. 和声

受験者区分	試験内容及び課題曲
指揮科 ・ 楽理科	<p>指揮科及び楽理科志願者のみに課す。 試験時間は1時間30分。 与えられた数字付低音によるバス及びソプラノ声部に、それぞれ四声体の和声を作る。 指揮科課題、楽理科課題とも三和音の基本形と転回形のみ。転調は含まない。</p>
	<p>平成28年度入学者選抜試験より「和声」について次の例題に準じた出題に変更する。</p> <p>1) 次の数字付き低音によるバス課題を四声体で実施しなさい。</p>  <p>2) 次のソプラノ課題を四声体で実施し、可能であればバス声部の下に和音数字（5, 6など）を書きなさい。</p> 

## 試験内容及び試験曲

別科入学者選抜試験は、本表「試験内容及び試験曲」に記載された内容についてのみ行う。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
声 楽	ソプラノ (S) アルト (A) (メゾソプラを含む) テノール (T) バス (B) (バリトンを含む)	自由曲1曲を演奏する。(オペラ、オラトリオのアリアは原調。) 暗譜のこと。  (注) 1. 伴奏楽譜は各自提出しなければならない。 2. 演奏する曲は学部声楽科課題曲と同じものでも差しつかえない。 3. 演奏時間は4分以内とする。 4. 伴奏者は本学で用意する。
	ピ ア ノ (P f)	次の10曲から1曲を選択し、その第1楽章と終楽章を用意すること。 Beethoven: ピアノソナタ ・第1番 ヘ短調 作品2-1 ・第2番 イ長調 作品2-2 ・第3番 ハ長調 作品2-3 ・第4番 変ホ長調 作品7 ・第6番 ヘ長調 作品10-2 ・第7番 ニ長調 作品10-3 ・第11番 変ロ長調 作品22 ・第16番 ト長調 作品31-1 ・第18番 変ホ長調 作品31-3 ・第21番 ハ長調 作品53「ワルトシュタイン」  I) 演奏はすべて暗譜とする。 II) 繰り返しは省略すること。 III) 当日、時間の都合により一部を省略させることがある。
器 楽	オ ル ガ ン (O r g)	自由曲 (注) 実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン科の項を参照すること。当日、時間の都合により一部省略させることがある。
	ヴ ィ オ ラ (V a)	(A) 音階 ヘ短調(音階、分散和音、分散3度、半音階、3度の重音)を演奏すること。 ※学部入試第1回試験の音階課題(イ)(ロ)を参照のこと。  (B) C. Stamitz: Viola Concerto No.1 ニ長調(D-dur)より第1楽章 Allegro moderato (カデンツァは除く) ※Henle版を使用  (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。 (A) (B)の順で演奏すること。
	チ ェ ロ (V c)	次のうち、任意の1曲を選んで演奏すること。 (A) L. Boccherini: Concerto B-dur 第1楽章(Grützmacher編) Cadenzaは除く。 (B) J. Haydn: Concerto C-dur 第1楽章(楽譜は何版を使ってもよい) Cadenzaは除く。 (C) C. Saint-Saëns: Concerto a-moll Op.33 第1楽章 (D) E. Lalo: Concerto d-moll 第1楽章(初めから117小節 Lentoまで) (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。
	コ ン ト ラ バ ス (C b)	自由曲 (注) 暗譜とし、伴奏なしとする。場合により一部を省略させることがある。
	ハ ー プ (H p)	自由曲 (注) 暗譜とする。場合により一部を省略させることがある。

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲	
器	<b>◎管楽器共通注意事項</b> (1) 音階 各調の中より当日指定する。ただし、金管楽器は学部試験内容に準じる。 (2) 課題曲 ただし伴奏はなしとする。 (注) 特に指定したもの以外は、楽譜を使用してもよい。		
	木管	フルート (F1)	J. Ibert : Pièce
		オーボエ (Ob)	C. Ph. E. Bach : 無伴奏ソナタg-Moll 第1, 2楽章 (何版にても可) (注) 原曲はSonate a-Moll Wq.132 無伴奏フルートソナタ
		クラリネット (Cl)	C. M. v. Weber : Konzert Nr.1 f-Moll für Klarinette und Orchester Op.73 第1楽章 (ペールマンのカデンツァを含む)
		ファゴット (Fg)	C. M. v. Weber : Concerto for Bassoon 第2, 3楽章 (何版にても可)
		サクソフォーン (Sx)	J. Ibert : Concertino da Camera (Leduc版)
	金管	ホルン (Hr)	(1) 課題曲 W. A. Mozart : Konzert fuer Horn und Orchester Nr.2 Es-dur K.417より 第1楽章 (版指定なし) 演奏箇所は当日指定する。 (2) 自由選択曲 次の2曲より1曲選択し演奏すること。 a) R. Strauss : Konzert Nr.1 Es-dur op.11 より 第1楽章 (Universal Edition) b) H. Neuling : Bagatelle fuer Horn und Klavier (EDITON PRO MUSICA) 演奏箇所は当日指定する。
		トランペット (Tp)	(1) Arban : Complete Grand Method (全音楽譜出版社版) より 長音階P.65~P.80, 短音階P.81 第70~81番 上記の中より当日指定する。 (注) B♭ Trumpetを使用のこと。 (2) H. Tomasi : Concerto 第1楽章より当日指定する。 (注) C Trumpetを使用のこと。
	楽管	<b>◎テナー・トロンボーン, バス・トロンボーン共通課題</b> E.Remington : Warm-Up Exercises for Trombone (Accura Music版) より下記の部分  第7ポジションまで演奏すること。(注) 暗譜とする。	
		テナー・トロンボーン (TTb)	C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より (A) No.26 暗譜で演奏すること。 (B) No.29, 34, 35, 36, 37, 39, 41, 42, 43, 44の中から当日指定する。 楽譜は使用して良い。
バス・トロンボーン (BTb)		C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) より (A) No.(19) 暗譜で演奏すること。 (B) No.(37), (42), 43, 46, (49), 50, (52), (54), 55, 56の中から当日指定する。 楽譜は使用して良い。 (注) ( ) の曲は1オクターブ下で演奏すること。他は記譜通り。	
ユーフォニアム (Euph)		C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone (全音楽譜出版社版) No.6~No.33 (No.29は除く) より当日指定する。	
チューバ (Tu)		C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Tuba (Hoffmeister版) No.6~No.33 より当日指定する。	
打楽器	(Pc)	(1) 小太鼓による基本奏法 1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, ロール (  等) (2) 音階 (鍵盤打楽器による) (3) Collection Drum Solos (Ludwig社版) よりP.4~P.19の中から当日指定する。 (4) 自由曲 (5) 音感テスト (注) 小太鼓は、各自持参すること。	

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
器 古 楽		<p>◎古楽共通注意事項</p> <p>①ソロおよび伴奏に使えるチェンバロは、2段鍵盤フレンチタイプ (a'=415, 8'8"4', FF-f") のみとする。</p> <p>②実技試験の行われるオルガンの仕様については、本冊子学部オルガン科の項を参照すること。</p> <p>③フォルテピアノは、18世紀末のウィーン式モデル (a'=430, 音域FF-g") である。</p> <p>④必要な伴奏者は同伴すること。ただし、オブリガートパートが必要な場合は、すべてチェンバロで代用すること。</p> <p>⑤すべての受験者に面接を課す。</p> <p>⑥すべての受験者は、自由曲目提出用紙に演奏する作品名を書いて、出願とともに提出すること。</p> <p>⑦各自の演奏する楽譜を3部ずつ用意して演奏順に綴じ、出願とともに教務係に送付すること。なお、所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「別科古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。このとき、学部声楽科伴奏楽譜送付用封筒を用いてはならない。</p>
	バロック声楽 (BV o)	5分程度の自由曲
	バロックヴァイオリン (BV n)	A. Corelli : ヴァイオリンソナタ集op.5のソナタ第1番から第6番までの中から1曲選択し、当日指定された楽章を演奏する。
	バロックチェロ (BV c)	J. S. Bach : Suite a violoncello solo senza basso no.3, BWV 1009から、Prélude, Allemande (繰り返しは省略のこと)
	リコーダー (Re c)	5分程度の自由曲
	チェンバロ (C e m b)	J. S. Bach : Die sechs Englischen Suiten (BWV 806-811) から任意の組曲1曲を選び、その中からPrélude, Courante, Sarabandeを演奏する (繰り返しは省略)。なおCouranteとSarabandeが複数ある組曲の場合は、Courante, Sarabandeそれぞれ1つ分を任意に選んで演奏すればよい。
	バロックオルガン (B O r g)	次の2作品から任意の1曲を演奏する。 1) J. S. Bach : Präludium und Fuge in a, BWV 543 2) J. S. Bach : Präludium und Fuge in G, BWV 541
	フォルテピアノ (FP)	MozartもしくはHaydnのクラヴィーア作品から5分程度の作品または楽章

#### 予告

- 平成29年度入試より、別科バロック声楽専攻の試験に初見視唱課題が課される。
- 平成29年度入試より、別科チェンバロ、別科バロックオルガン、別科フォルテピアノの各専攻には、通奏低音課題 (簡易な数字付き低音課題が当日与えられ、5分の予見ののちにそれぞれの専攻楽器で実施する) が課される。
- 平成29年度入試より、別科バロック声楽、別科バロックヴァイオリン、別科バロックチェロ、別科リコーダーの各専攻の面接においては、数字付き低音の基礎的知識の有無を問う試問がなされることがある。



専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲						
邦 箏	<p>◎箏曲共通注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 暗譜で演奏すること。</li> <li>2. 試験は、箏は立奏（椅子）で行う。三絃は立奏でも座奏でもよい。</li> <li>3. 演奏箇所は試験の際に指示する。</li> </ol>	<p>下記の〈古典〉・〈現代〉より1曲を選択する。</p> <table border="1" data-bbox="496 365 1121 566"> <tr> <td data-bbox="496 365 560 454">古典</td> <td data-bbox="560 365 1121 454">「四季の遊」 三世 山登松齡 作曲 ※箏・三絃のどちらの楽器を用いてもよい</td> </tr> <tr> <td data-bbox="496 454 560 566">現代</td> <td data-bbox="560 454 1121 566">「赤壁賦」 中能島欣一 作曲</td> </tr> </table> <p>●山田流試験に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 古典による出願者は、箏・三絃のいずれかを選択し、曲目提出用紙に記入すること。</li> <li>2. 原則として箏・三絃ともに各自持参の楽器を使用するが、本学で用意した箏（テトロン糸18匁）・三絃（絹糸）の使用も可能である。なお、曲目提出用紙に持参・借用の区別を記入すること。</li> </ol>	古典	「四季の遊」 三世 山登松齡 作曲 ※箏・三絃のどちらの楽器を用いてもよい	現代	「赤壁賦」 中能島欣一 作曲		
	古典	「四季の遊」 三世 山登松齡 作曲 ※箏・三絃のどちらの楽器を用いてもよい						
現代	「赤壁賦」 中能島欣一 作曲							
楽 曲	生 田 流	<p>※下記の中から、箏・三絃各1曲を選択する。 ただし、学部と併願する場合は、学部への出願曲と重複しないこと。</p> <table border="1" data-bbox="496 891 1433 1160"> <tr> <td data-bbox="496 891 560 1048">箏</td> <td data-bbox="560 891 1161 1048">「ままの川」（菊岡検校作曲・松野検校箏手付） 「萩の露」（幾山検校作曲・八重崎検校箏手付） 「越後獅子」（峰崎勾当作曲・八重崎検校箏手付） 「楓の花（本手）」（松坂春栄作曲）</td> <td data-bbox="1161 891 1433 1048">一は壱越（D） 一は壱越（D） 一は双調（G） 一は神仙（C）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="496 1048 560 1160">三絃</td> <td data-bbox="560 1048 1161 1160">「八段の調」（八橋検校作曲） 「千代の壽」（宮城道雄作曲） 「末の契り」（松浦検校作曲）</td> <td data-bbox="1161 1048 1433 1160">Iの糸は壱越（D） Iの糸は壱越（D） Iの糸は壱越（D）</td> </tr> </table> <p>●生田流試験に関する注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 箏は本学で用意した楽器（テトロン糸18匁）を使用する。</li> <li>2. 三絃は原則として各自の楽器を使用するが、本学で用意した楽器（絹糸）を使用することもできる。（曲目提出用紙に、持参・借用の区別を記入すること。）</li> </ol>	箏	「ままの川」（菊岡検校作曲・松野検校箏手付） 「萩の露」（幾山検校作曲・八重崎検校箏手付） 「越後獅子」（峰崎勾当作曲・八重崎検校箏手付） 「楓の花（本手）」（松坂春栄作曲）	一は壱越（D） 一は壱越（D） 一は双調（G） 一は神仙（C）	三絃	「八段の調」（八橋検校作曲） 「千代の壽」（宮城道雄作曲） 「末の契り」（松浦検校作曲）	Iの糸は壱越（D） Iの糸は壱越（D） Iの糸は壱越（D）
箏	「ままの川」（菊岡検校作曲・松野検校箏手付） 「萩の露」（幾山検校作曲・八重崎検校箏手付） 「越後獅子」（峰崎勾当作曲・八重崎検校箏手付） 「楓の花（本手）」（松坂春栄作曲）	一は壱越（D） 一は壱越（D） 一は双調（G） 一は神仙（C）						
三絃	「八段の調」（八橋検校作曲） 「千代の壽」（宮城道雄作曲） 「末の契り」（松浦検校作曲）	Iの糸は壱越（D） Iの糸は壱越（D） Iの糸は壱越（D）						

専修	声種・楽器等	試験内容及び試験曲
邦 楽	尺 八	<p>(1) 課題曲 1 曲  「末の契」 松浦検校作曲  「越後獅子」 峰崎勾当作曲  「江の島曲」 山田検校作曲  「臼の声」 山登萬和作曲  以上の 4 曲のうち 1 曲を選択。</p> <p>(2) 本曲 1 曲 (曲目は自由)</p> <p>(注)  1. 流派は問わない。  2. 全曲暗譜とする。  3. 五孔尺八の一尺八寸管(竹製)を用いること。  4. 演奏箇所は、試験の際に指示する。  5. 演奏は、椅子又は立姿勢で行う。  6. 邦楽一般及び尺八について簡単な試問を行うことがある。</p>
	能 楽 (囃子を除く)	<p>シテ方 (観世流及び宝生流)  謡曲 「網之段」 (桜川)  仕舞 「岩船」</p> <p>ワキ方 (下掛宝生流)  謡曲 「網之段」 (桜川)  仕舞 「蟻通」</p> <p>狂言方 (和泉流)  謡曲 「大原木」  小舞 「海道下り」</p> <p>(注) 受験者は着物、袴、白足袋着用のこと。</p>
	能 楽 囃 子	<p>下記の中から 1 つを自由選択。  (イ) 笛 (一噌流) 「男舞」 (三段)  (ロ) 小鼓 (幸流) 「経正 (政)」キリ  (ハ) 大鼓 (高安流) 「敦盛」クセ  (ニ) 太鼓 (観世流) 「杜若」キリ (昔男のヨリ)</p> <p>(注) 1. 笛以外の楽器は、地謡の流儀(観世流、宝生流のいずれか)を受験曲目提出用紙に記入すること。  2. 受験者は着物、袴、白足袋着用のこと。</p>

## 試験内容及び課題曲の一部訂正について (別科尺八)

平成27年10月8日(木)より配布している「平成28年度東京藝術大学音楽学部・別科入学者選抜試験 試験内容及び課題曲」の一部に誤りがありましたので、以下のとおり訂正します。

### 別科 邦楽専修 尺八

(誤)

(1) 課題曲 1 曲  
「末の契」 **菊岡**検校作曲  
「越後獅子」 峰崎勾当作曲  
「江の島曲」 山田検校作曲  
「臼の声」 山登萬和作曲  
以上の 4 曲のうち 1 曲を選択。

→

(正)

(1) 課題曲 1 曲  
「末の契」 **松浦**検校作曲  
「越後獅子」 峰崎勾当作曲  
「江の島曲」 山田検校作曲  
「臼の声」 山登萬和作曲  
以上の 4 曲のうち 1 曲を選択。